

第 103 回 ヨーロッパ諸国の世界進出



ヴァスコ＝ダ＝ガマ
カリカットに到達。
第 82 回のプリント
を見ましょう。

1 ポルトガルとスペインの世界進出

<ポルトガルの海外進出>

- ・1498 年、() がインドの () に到達し、ヨーロッパから直接アジアへ行く航路が開かれた。
- インド西部の () とセイロン島、東南アジアの ()、()、東ティモール、中国の ()、日本の () などを拠点として、交易を行った。
- 都の () は世界貿易の中心として栄えた。



コロンブス
ジェノヴァ出身の
船乗り。スペイン
女王イサベルの
支援で「新大陸」
に到達。
第 83 回を復習。

<スペインのアメリカ経営>

- ・1492 年、() がサンサルバドル島に到達すると、スペインはアメリカ大陸への進出を積極的に行った。
- ・コンキスタドールたちは、アメリカの古代文明を征服した。
- () により、ボリビアの () や各地のプランテーションで先住民を酷使した。
- ラス＝カサスらの批判や先住民人口の急激な減少により、() という奴隷供給契約によって黒人奴隷を使用するようになっていった。
- ・アジアでは、フィリピンの () を拠点とした。

2 オランダの世界進出

- ・() から事実上独立したオランダは、1602 年、() を設立し、17 世紀前半に積極的な海外進出を行った。



VOC
オランダ東インド会
社の社章。世界最
初の株式会社であ
った。第 94 回のプ
リントを見ましょう。

- ・() 東部のマタラム王国と西部のバンテン王国を支配した。
- ジャワ島の () をアジア貿易の拠点とした。
- ・マラッカ、モルッカ諸島、セイロン島を () から奪った。
- 1623 年には、() によって、イギリスも排除した。
- これにより東南アジアにおける香辛料貿易を、オランダが独占した。
- ※東南アジアにおけるオランダの植民地を、オランダ領東インドという。
- ・また中国の ()、北米の () を中心とするニューネーデルラント、南アフリカの () を支配した。
- 17 世紀前半、オランダは世界で最も裕福な国となり、覇権国家となった。

- ・1651 年、イギリスがオランダに打撃を与えるため () を発布した。
- 3 度のイギリス＝オランダ戦争（英蘭戦争）に敗れ、覇権を失っていった。



コルベール
フランス王ルイ 14 世
に仕えた財務総監。
王立マニュファクチュ
アの育成など重商主
義政策を進めた。
第 96 回を復習。

3 フランスの世界進出

- ・アンリ 4 世時代の 1604 年、() を設立したが、すぐに活動停止した。
- ・1608 年に、カナダの() を植民地とした。
- ・1682 年、ラ=サールが北アメリカに() 植民地を建設した。
- ・サン=ドマングでは、黒人奴隷を使用するサトウキビ栽培が行われた。
- ・ルイ 14 世時代の 1664 年、財務総監() が東インド会社を再建し、インドの() と() を拠点とした。
- ・18 世紀にはインド総督のデュプレクスが、南インドでイギリスと争った。



エリザベス1世
イギリス繁栄の基礎
を築いたヴァージン
クイーン。
第 92 回を復習。

4 イギリスの世界進出

- ・エリザベス 1 世時代の 1600 年、() が設立された。
→1623 年、() でオランダに敗れ東南アジアから撤退した。
→インドに交易の重点を移し、()、()、() を拠点として、交易を行った。

<アメリカ方面>

- ・エリザベス 1 世時代の 1584 年、探検家のローリが() 植民地を建設したが、失敗した。
→1607 年、タバコのプランテーション経営を基盤とする会社が、新たにジェームズタウンを建設してヴァージニア植民地を再建した。
- ・ジェームズ 1 世の弾圧で、() がアメリカに移住していった。
→アメリカ北東部に() を成立させた。
- ・イギリス=オランダ戦争中の 1664 年、オランダ領のニューアムステルダムを占領して() と改称し、植民地とした。
- ・西インド諸島のジャマイカでは、黒人奴隷を使用するサトウキビのプランテーション経営が行われた。



サトウキビ
砂糖の原料である。
ブラジルで栽培が始まり、英仏が植民地とした西インド諸島で盛んに栽培された。

